

令和5年3月14日（火曜日）

予算決算委員会経済観光分科会

第4委員会室

出席議員

常盤真功、東影 昭、宮下和也、木村達夫、
八木隆次郎、石堂大輔、萩原唯典、伊藤大典

【経済観光委員会（観光スポーツ局）の審査】

再開

11時34分

観光スポーツ局

11時34分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和5年度姫路市一般会計予算
- ・議案第13号 令和4年度姫路市一般会計補正予算
(第9回)

質疑

11時58分

(質問)

姫路城縦覧料と姫路城観覧料には、どのような違いがあるのか。

(答弁)

縦覧料は入城料である。観覧料は、ナイトイベントや夜桜会等のイベント収入である。

(質問)

姫路城管理費約9億6,400万円について、令和4年度と比べて約2億1,000万円の減になっているが、どのような理由から減額になっているのか。

(答弁)

ライトアップ設備のLED化にかかる予算が約6,600万円減額となる。

また、防災設備の改修が令和4年度で終了するため約7,300万円の減額となるほか、毎年度行っている保存修理が令和5年度においては土塀部分となり、4,000万円減となる。

そのほか、耐震改修工事が縮小され、減になっている。

(質問)

建造物保存修理事業費や整備事業費が減ったという理解でよいのか。

(答弁)

建造物保存修理事業費は、2億2,000万円から7,800万円となり約1億4,000万円減に、整備事業費は3

億3,000万円から2億7,000万円となっている。

(質問)

文化センター費という名称でありながら、内容は姫路キャスパホールの管理運営等に要する経費である。将来的に名称を変更するのか。それとも今後も文化センター費として残るのか。

(答弁)

文化センター費については、もともと旧の文化センターに係る予算のみであったが、後にキャスパホールに係る予算が加わったという経緯がある。文化センターが閉館したためキャスパホールの予算だけが残ったが、閉館を機に名称変更したほうがよいと思われることから、財政課と協議していく。

(意見)

予算科目は分かりやすいほうがよいと思う。

(質問)

入場料収入において、令和5年度は令和4年度の約1.5倍が計上されている。新型コロナウイルス感染症の収束に加えて、姫路城世界遺産登録30周年記念事業による観光客の増加を見込んでいると思われるが、姫路城や好古園、書写山圓教寺、美術館等の収入をどのように計算しているのか。

(答弁)

令和4年度の姫路城入城者数は、最終的に90万人ほどになると思われる。コロナ前が155万人、令和3年度が44万人であった。現在、コロナ前までインバウンドが回復していないので、令和5年度については110万人を見込んでいる。

好古園の来場者数は、姫路城と同じ傾向が見られる。書写の里・美術工芸館についても、インバウンドが戻っていないので、姫路城と同じコロナ前の7~8割で計算している。

動物園や水族館、植物園、平和資料館等は、もともと市民の利用が中心であるため、コロナ前と同じ率で設定している。

(要望)

110万人と言わず、さらに上を目指して頑張ってもらいたい。

(質問)

美術館へのWi-Fi環境整備について、インバウンド観光の推進等を目的としており、利用者が通信速

度等にストレスを感じることなく使えるようにしなければならぬと思う。最大同時接続数等の仕様について、どのようにしようと考えているのか。

(答弁)

建物内の来館者が来るスペースに、利用者がストレスなく使えるように整備する予定である。今後、業者と詳細を詰めていきたい。

(要望)

目的に合った仕様にしてもらいたい。

退職者挨拶

観光スポーツ局終了 **12時10分**

【経済観光委員会の意見取りまとめ】

意見取りまとめ **12時13分**

・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

閉会 **12時14分**